

公益財団法人 放送文化基金
2022年度 事業計画
(自 2022年4月1日 ～ 至 2023年3月31日)

2022年度も基幹事業である「1助成、2表彰、3支援活動」を中心に事業を展開する。

1 助成事業

2021年度に引続き、総額6,000万円（うち2,000万円は助成費用準備資金《積立金》の取崩しによる）で放送の周辺領域を含むより広い分野での放送技術に関する研究・開発ならびに人文・社会科学的な調査・研究、および文化的な事業への助成を実施する。また、助成応募件数の増加を図るため、放送文化基金の助成事業に関する周知・宣伝活動に努める。助成対象を決定した際は、対象者とテーマを記者発表し、ホームページ（英語表記を含む）で公表する。

3月の「助成金贈呈式」では、近年助成したプロジェクトの中から、視聴者の関心の高いテーマや時宜を得たテーマをとりあげ、研究報告会を行う。

予算額 6,593万円
(積立金の充当額2,000万円を含む)

2 表彰事業

視聴者に感銘を与え、放送文化の発展と向上に寄与した優れた番組と放送文化および放送技術に関する著しい貢献に対し表彰を行う。

(1) 放送文化基金賞

全国の民放、NHK、番組制作会社を対象に、広く応募を募り、番組部門と個人・グループ部門の2部門を表彰する。

「放送文化基金賞」の決定については、その受賞作品、受賞者、選考理由等を記者発表し、ホームページ（英語表記を含む）で公表する。

○ 番組部門

前年度に放送されたテレビドキュメンタリー、テレビドラマ、テレビエンターテインメント、ラジオの4分野の番組を対象とする。

番組の表彰（最優秀賞、優秀賞、奨励賞） 計16本以内

個人への賞（演技賞、企画賞、演出賞等） 計 6件以内

○ 個人・グループ部門

次の2分野で主に前年度に顕著な業績を挙げた個人またはグループを対象とする。

放送文化・・・放送界に新生面を拓くなど放送文化の発展・向上に
貢献した個人またはグループ 4件以内
放送技術・・・技術の開発や放送現場での工夫・考案で効果を挙げ
た個人またはグループ 4件以内

(2) 他の賞への参加

国際コンクールである「ABU賞」(主催 アジア太平洋放送連合)、
「日本賞」(主催 NHK)、「創作テレビ・ラジオドラマ大賞」
(主催 日本放送作家協会・NHK)へ参加し、優れた番組や企画、
脚本にそれぞれ賞金を贈呈する。

◎ABU賞・・・優れた番組の表彰(ABU賞全体へのスポンサーとして)

◎日 本 賞・・・教育に役立つテレビ番組の優れた企画の表彰

◎創作テレビ・ラジオドラマ大賞・・・優れた創作脚本の表彰

予算額 4,813万円

3 支援活動事業(制作者フォーラム)

放送に携わる若手制作者の人材育成を支援する施策として、地域の制作者が
組織の枠を越えて交流を図る制作者フォーラムを各地区で開催する。

今年度は北日本(青森)、北信越(新潟)、愛知・岐阜・三重(名古屋)、中
四国(鳥取・島根)、九州・沖縄(福岡)の5地区での開催を見込んでいる。
また東京で全国制作者フォーラムを開催する。

予算額 1,276万円

4 広報

事業の活動状況を広く紹介するための広報誌(放送文化基金報「HBF」)
第94号(秋号)を9月に刊行し配布する。

また、ホームページを通じた事業活動の紹介に加えて、助成事業への積極的
な応募の促進を図るため、メディア等を活用した周知・宣伝活動に取り組む。

予算額 560万円

5 設立50周年記念事業の準備

設立50周年(2024年2月1日)記念事業として計画している記念シン
ポジウム(共催)等の具体化に向けた準備を進める。

予算額 700万円